

岡田和喜先生のコメントへの回答

岡崎女子短期大学 飛田紀男

1. とくに私は 三信遠国境（愛知、長野、静岡）の弱小銀行を研究対象として参りました。これら諸銀行は昭和初期には精算されました。同僚との語らいの中で、支店配置が柳田民俗学派の通婚圏と合致する面があるように思うことがあります。今後、なお議論を進めていきたいと存じます。

2. 昭和 16 年（1941）からの東海銀行成立にあたって、第一、三井などの大銀行は、全国的に知名度の低い愛知県郡部の稲沢、岡崎、大野には眼が向かなくなった。あまりにも多い郡部銀行の支店存在は東海銀行成立にプラスに働いたと思う。

3. 東海銀行成立にあたって、第一、三井銀行などの大銀行は、愛知県諸銀行のプレステージが低いと思っていた。そのことが戦後十数年間、しっぺ返しを受けた面はあったと思う。